

令和3年度文部科学省委託事業  
「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

# 留学生に関する 実態把握アンケート調査報告書

企業対象

令和3年12月調査

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

## ◇調査方法

調査対象：大阪商工会議所 会員企業、キャリアマップ(株式会社グッドニュース運営)登録企業  
調査方法：インターネット調査 (アンケート)  
調査期間：2021年11月24日～12月16日  
回答数：224

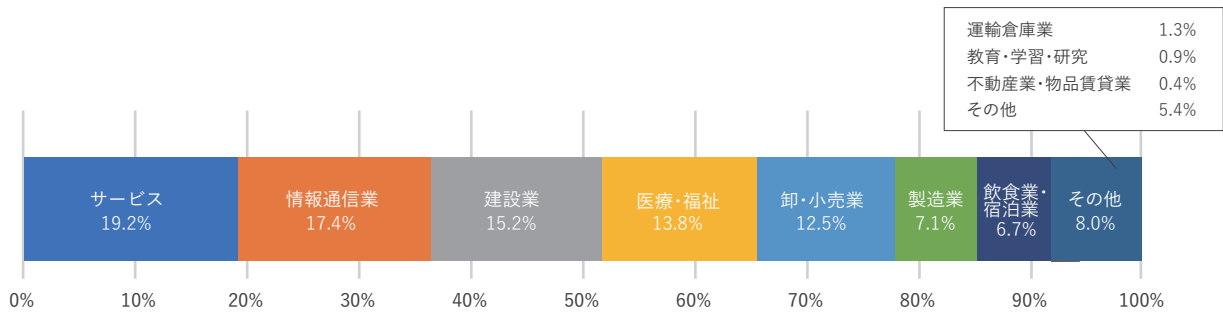
## ◇INDEX

P01	1. 調査概要／INDEX
P02	2. 回答者属性
P05	3. 本調査
P05	1-1 新型コロナウイルスによる事業への影響
P06	1-2 コロナ禍の外国人留学生採用状況
P07	1-3 コロナ禍の外国人留学生求人および応募状況
P08	1-4 今後の外国人留学生採用方針
P09	2-1 専修学校卒業生の採用計画
P10	2-2 専修学校で学ぶ留学生像
P11	2-3 留学生採用への期待
P12	2-4 留学生採用による成果
P13	2-5 留学生に期待すること
P14	2-6 留学生採用における情報収集方法
P15	2-7 留学生採用で求める情報
P16	2-8 留学生採用の課題
P17	2-9 留学生採用で政府自治体に期待すること
P18	2-10 留学生採用への意見

## 2 回答者属性

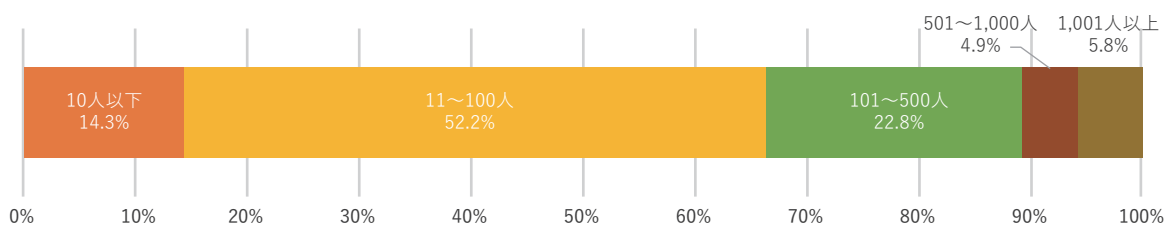
### ◇業種 (※総務省作成 日本標準産業分類準拠)

回答数：224件



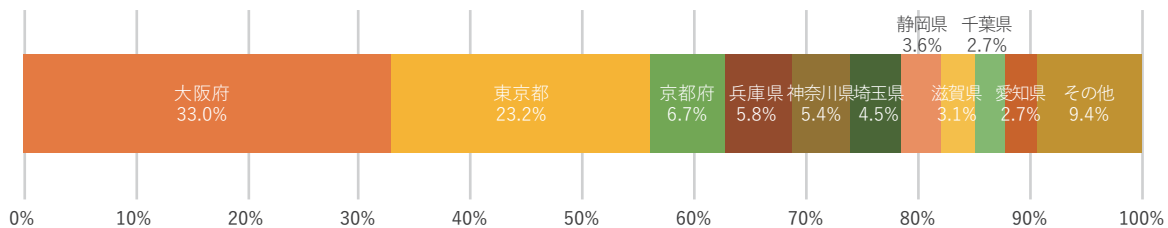
### ◇従業員数

回答数：224件



### ◇本社／本店所在地

回答数：224件



### ◇業種×外国人事業者数

回答数：224件

		外国人従業員数					小計/総計
		なし	10人未満	10～19人	20～29人	30人以上	
総計	(n=224)	132	69	9	4	10	224
		58.9%	30.8%	4.0%	1.8%	4.5%	100.0%
業種	製造業 (n=16)	7	6	1	1	1	16
		43.8%	37.5%	6.3%	6.3%	6.3%	7.1%
	建設業 (n=34)	21	10	2	0	1	34
		61.8%	29.4%	5.9%	0.0%	2.9%	15.2%
	卸・小売業 (n=28)	10	15	1	0	2	28
		35.7%	53.6%	3.6%	0.0%	7.1%	12.5%
	情報通信業 (n=39)	21	17	1	0	0	39
		53.8%	43.6%	2.6%	0.0%	0.0%	17.4%
	運輸倉庫業 (n=3)	0	1	1	1	0	3
		0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	1.3%
	飲食業・宿泊業 (n=15)	5	6	0	0	4	15
		33.3%	40.0%	0.0%	0.0%	26.7%	6.7%
	不動産業・物品賃貸業 (n=1)	0	0	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.4%	
サービス (n=43)	31	9	1	1	1	43	
	72.1%	20.9%	2.3%	2.3%	2.3%	19.2%	
医療・福祉 (n=31)	24	5	1	1	0	31	
	77.4%	16.1%	3.2%	3.2%	0.0%	13.8%	
教育・学習・研究 (n=2)	2	0	0	0	0	2	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	
その他 (n=12)	11	0	1	0	0	12	
	91.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	5.4%	

## 2 回答者属性

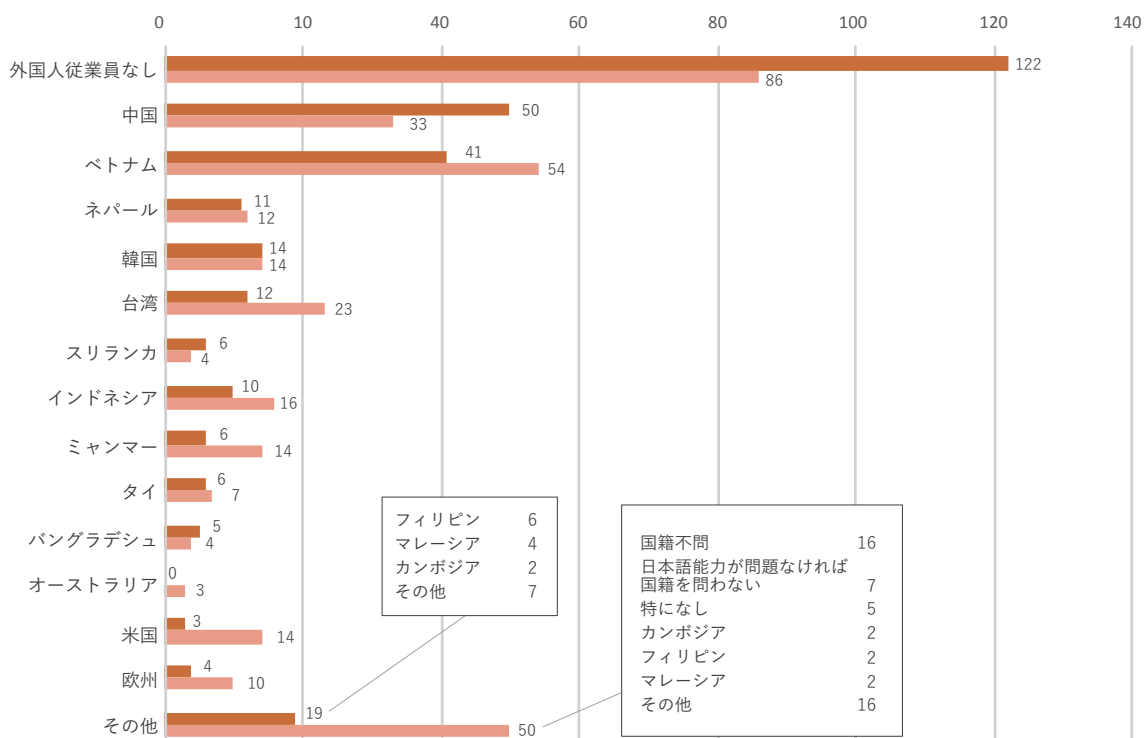
### ◇国内事業所数×海外事業所数

回答数：224件

国内事業所数		海外事業所数					小計/総計
		なし	1カ所	2カ所	3カ所	4カ所以上	
総計	(n=224)	206	5	4	5	4	224
		92.0%	2.2%	1.8%	2.2%	1.8%	100.0%
本社のみ	(n=88)	85	1	1	1	0	88
		96.6%	1.1%	1.1%	1.1%	0.0%	39.3%
2カ所	(n=39)	37	1	1	0	0	39
		94.9%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%	17.4%
3カ所	(n=19)	19	0	0	0	0	19
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.5%
4カ所	(n=12)	10	1	1	0	0	12
		83.3%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	5.4%
5カ所以上	(n=66)	55	2	1	4	4	66
		83.3%	3.0%	1.5%	6.1%	6.1%	29.5%

### ◇外国人従業員採用/今後の採用計画

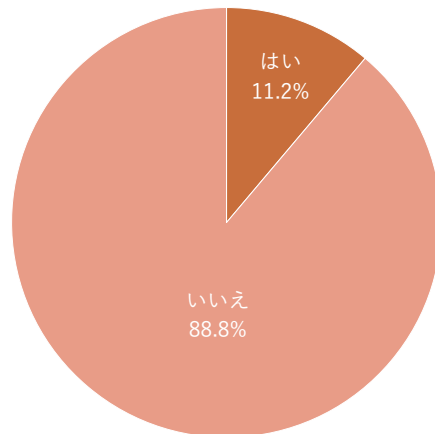
回答数：224件



- 外国人従業員の出身上位国・地域（複数選択可/3つまで）
- 今後採用したい従業員の出身国・地域（複数選択可/3つまで）

## 2 回答者属性

◇一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会（大専各）を知っていましたか？ 回答数：224件

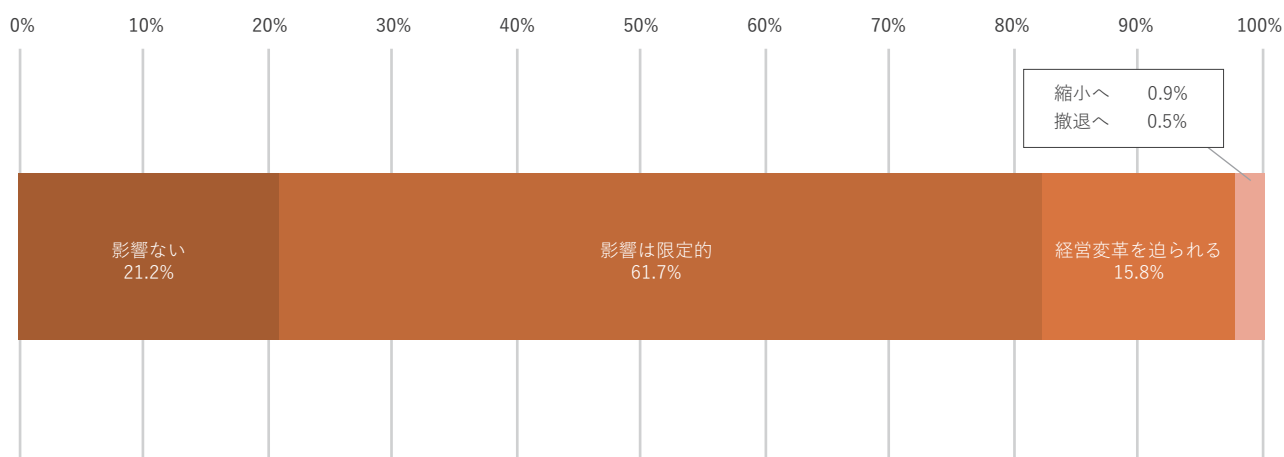


## 1-1 新型コロナウイルスによる事業への影響

新型コロナウイルスの各社の事業への影響は「影響は限定的」が最も多く、61.7%の回答。一方で「経営変革を迫られる(15.8%)」や「縮小へ(0.9%)」「撤退へ(0.4%)」の回答も見られた。業種別にみると、「飲食業・宿泊業」「不動産業・物品賃貸業」「サービス業」「医療・福祉」の分野で、「経営変革を迫られる」の数値が高い傾向が見られた。

◇新型コロナウイルス感染症の影響による今後の事業への見通しについて、2021年10月現在での予想を教えてください。

回答数：222件



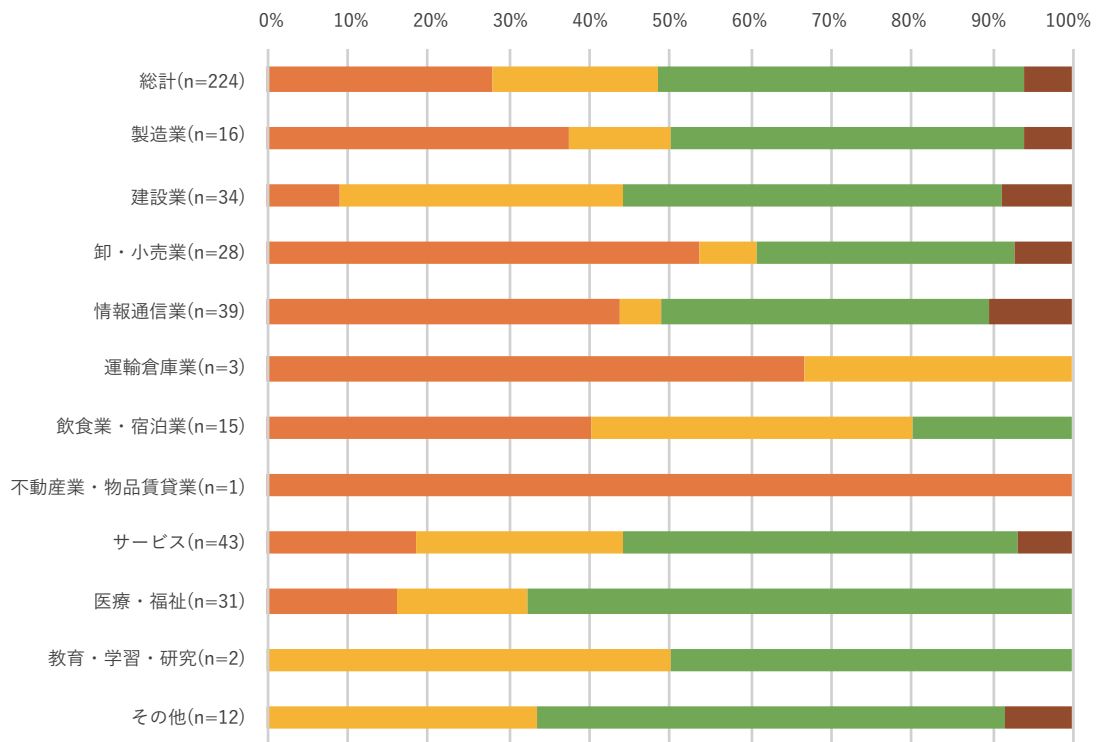
		影響ない	影響は限定的	経営変革を迫られる	縮小へ	撤退へ
総計	(n=222)	21.2%	61.7%	15.8%	0.9%	0.5%
製造業	(n=16)	18.8%	62.5%	12.5%	6.3%	0.0%
建設業	(n=34)	35.3%	58.8%	5.9%	0.0%	0.0%
卸・小売業	(n=28)	17.9%	60.7%	17.9%	0.0%	3.6%
情報通信業	(n=39)	25.6%	69.2%	5.1%	0.0%	0.0%
運輸倉庫業	(n=3)	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
飲食業・宿泊業	(n=15)	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
不動産業・物品賃貸業	(n=1)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
サービス	(n=43)	18.6%	55.8%	25.6%	0.0%	0.0%
医療・福祉	(n=29)	20.7%	58.6%	20.7%	0.0%	0.0%
教育・学習・研究	(n=2)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	(n=12)	8.3%	83.3%	0.0%	8.3%	0.0%

## 1-2 コロナ禍の外国人留学生採用状況

現在の外国人留学生の採用状況について尋ねたところ、全体では「採用実績はなく、今後も予定がない」が最も多く、45.1%。「採用実績があり、今後も採用していくつもりだ」28.1%を17ポイント上回った。業種別にみると、「製造業」「卸・小売業」「情報通信業」「運輸倉庫業」「飲食業・宿泊業」「不動産業・物品賃貸業」で積極的な採用を行っている。また、今後に向けては、「建設業」「運輸倉庫業」「飲食業・宿泊業」などで留学生採用が進められている。一方、就労にあたり資格が必須であり、内容によっては留学生では取得ができないものもある「医療・福祉」では採用に消極的という結果となった。

◇2021年10月現在の外国人留学生の採用について伺います。

回答数：224件

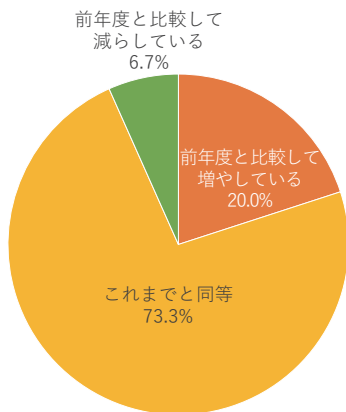


	総計 (n=224)	製造業 (n=16)	建設業 (n=34)	卸・小 売業 (n=28)	情報通 信業 (n=39)	運輸倉 庫業 (n=3)	飲 食 業・宿 泊業 (n=15)	不動産 業・物 品賃 貸業 (n=1)	サー ビス (n=43)	医 療 ・福 祉 (n=31)	教育 ・学 習 ・研 究 (n=2)	その 他 (n=12)
□ 採用実績があり、今後も採用していくつもりだ	28.1%	37.5%	8.8%	53.6%	43.6%	66.7%	40.0%	100.0%	18.6%	16.1%	0.0%	0.0%
■ 採用実績はないが、今後は採用していくつもりだ	20.5%	12.5%	35.3%	7.1%	5.1%	33.3%	40.0%	0.0%	25.6%	16.1%	50.0%	33.3%
■ 採用実績はなく、今後も予定はない	45.1%	43.8%	47.1%	32.1%	41.0%	0.0%	20.0%	0.0%	48.8%	67.7%	50.0%	58.3%
■ 採用実績はあるが、今後は採用しないつもりだ	6.3%	6.3%	8.8%	7.1%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	7.0%	0.0%	0.0%	8.3%

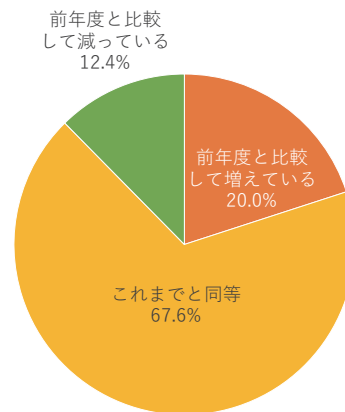
## 1-3 コロナ禍の外国人留学生求人および応募状況

留学生の求人募集状況および求人応募状況については、いずれも「これまでと同等」の回答が最も多く、それぞれ募集で73.3%、応募で67.6%の回答があった。募集と応募状況を合わせてみると、募集を「前年と比較して減らしている」かつ求人も「前年と比較して減っている」企業が57.1%あるが、求人は「これまでと同等」ながら応募が「前年度と比較して増えている」という企業が14.3%、求人を「前年度と比較して増やしている」にも関わらず応募が「前年度と比較して減っている」という回答も9.5%あった。

◇2021年10月現在の外国人留学生の求人募集状況について伺います。 回答数：105件



◇2021年10月現在の外国人留学生の応募状況について伺います。 回答数：105件



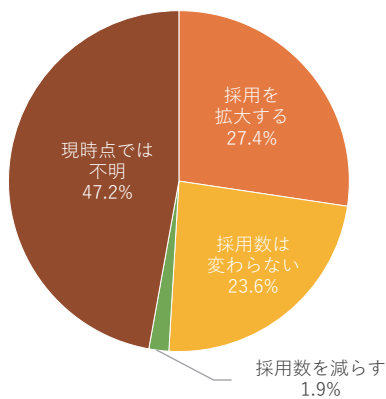
			応募状況					
			前年度と比較して増えている		前年度と比較して減っている		これまでと同等	
総計		(n=105)	21	20.0%	13	12.4%	71	67.6%
求人募集状況	前年度と比較して増やしている	(n=21)	10	47.6%	2	9.5%	9	42.9%
	前年度と比較して減らしている	(n=7)	10	0.0%	4	57.1%	3	42.9%
	これまでと同等	(n=77)	11	14.3%	7	9.1%	59	76.6%



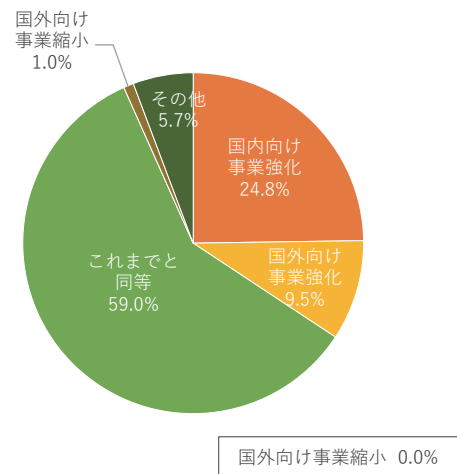
## 1-4 今後の外国人留学生採用方針

今後の留学生の採用方針については、「現時点では不明」が47.2%、次いで「採用を拡大する」が27.4%となった。『1-1 新型コロナウイルスによる事業への影響』で「影響はあるが限定的」と回答していた企業も多いことから、留学生の採用拡大は調査数値以上に増える可能性がある。また、採用数の増減理由については、「これまでと同等」の回答が最も多かったが、「国内向け事業強化」を理由に挙げた企業が24.8%あった。留学生の「採用を拡大する」企業では、「国外向け事業の強化」よりも、「国内向け事業強化」のため留学生採用を増やす予定であることがわかる。

◇今後の留学生採用方針について  
いずれか一つお選びください。 回答数：106件



◇留学生採用数の変化（増減）の理由を教えてください。 回答数：105件



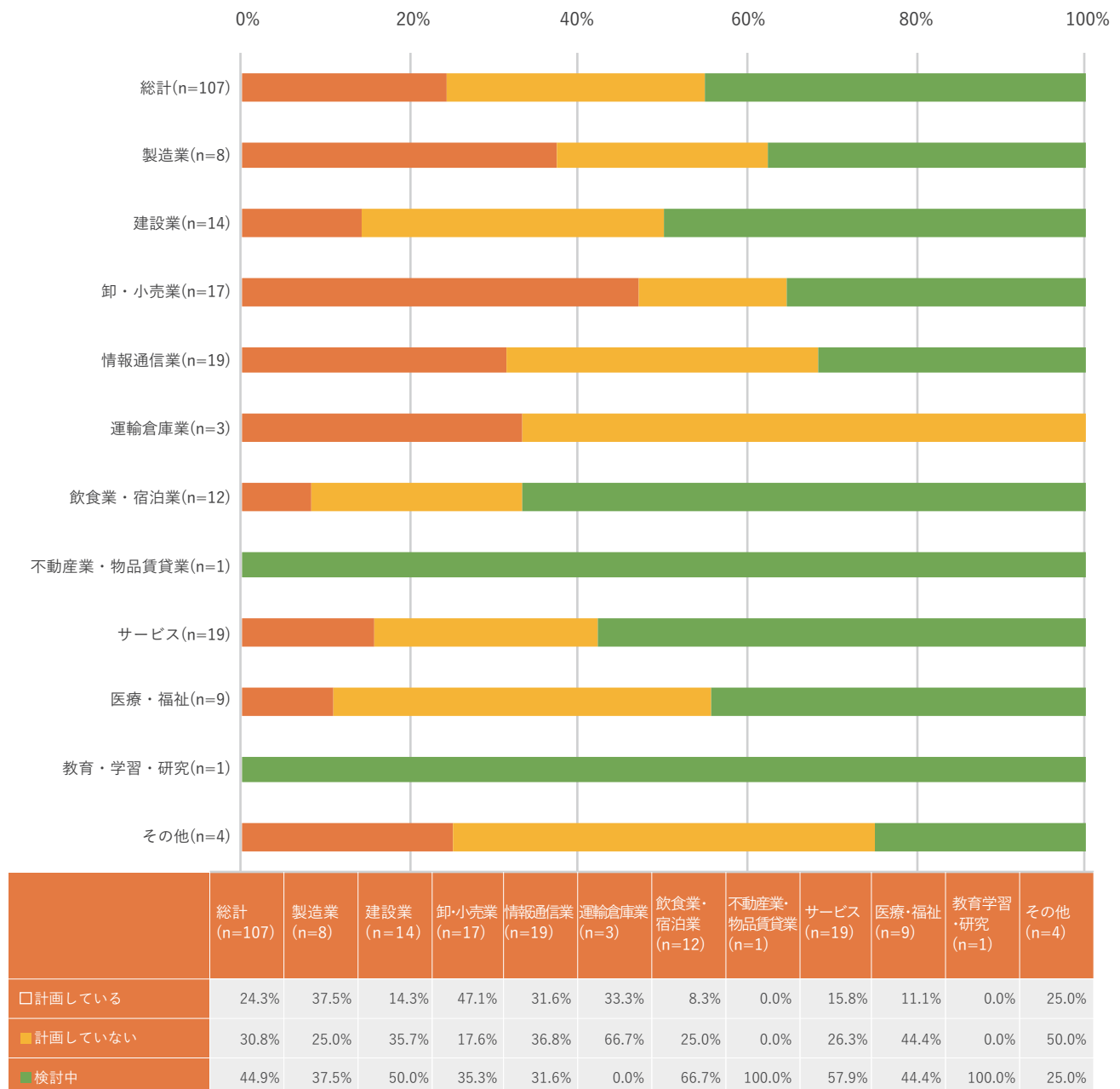
採用方針	件数	国内向け事業強化		国外向け事業強化		国外向け事業縮小		これまでと同等		その他		未回答		
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
総計	(n=106)	25	23.6%	10	9.4%	1	0.9%	62	58.5%	6	5.7%	2	1.9%	
採用方針	採用を拡大する	(n=29)	18	62.1%	4	13.8%	0	0.0%	5	17.2%	2	6.9%	0	0.0%
	採用数は変わらない	(n=25)	2	8.0%	1	4.0%	0	0.0%	21	84.0%	1	4.0%	0	0.0%
	採用数を減らす	(n=2)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
	現時点では不明	(n=50)	5	10.0%	5	10.0%	1	2.0%	34	68.0%	3	6.0%	2	4.0%

## 2-1 専修学校卒業生の採用計画

専修学校卒業生に限定して採用計画を尋ねたところ、「計画をしている」24.3%と『1-2 コロナ禍の外国人留学生採用状況』での「採用実績があり、今後も採用していくつもりだ」28.1%を若干下回った。業種別にみると、「情報通信業」や「運輸倉庫業」で下がっているが、留学生採用に前向きな回答をしていた「製造業」「卸・小売業」「飲食・宿泊業」などは大きく変化がなかった。

### ◇専修学校を卒業する留学生の採用活動を、採用計画に含んでいますか？

回答数：107件

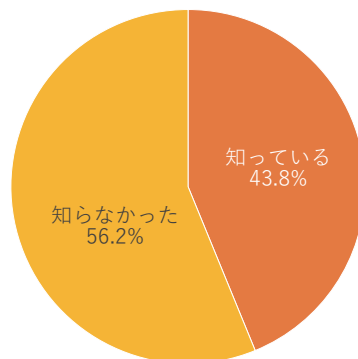


## 2-2 専修学校で学ぶ留学生像

専修学校で学ぶ留学生には現地大学・大学院を卒業後に日本語を習得し、来日しているケースも多い。そうした実態についての理解度を尋ねたところ、「知っている」の回答が43.8%と半数以下の回答となった。専修学校にはこうした優秀な留学生も多く、前問と比較しても、専修学校に関する認識が国内外で若干異なっている可能性が感じられる。

◇専修学校で学ぶ留学生の中に現地大学・大学院を卒業した生徒がいることをご存じですか？

回答数：105件

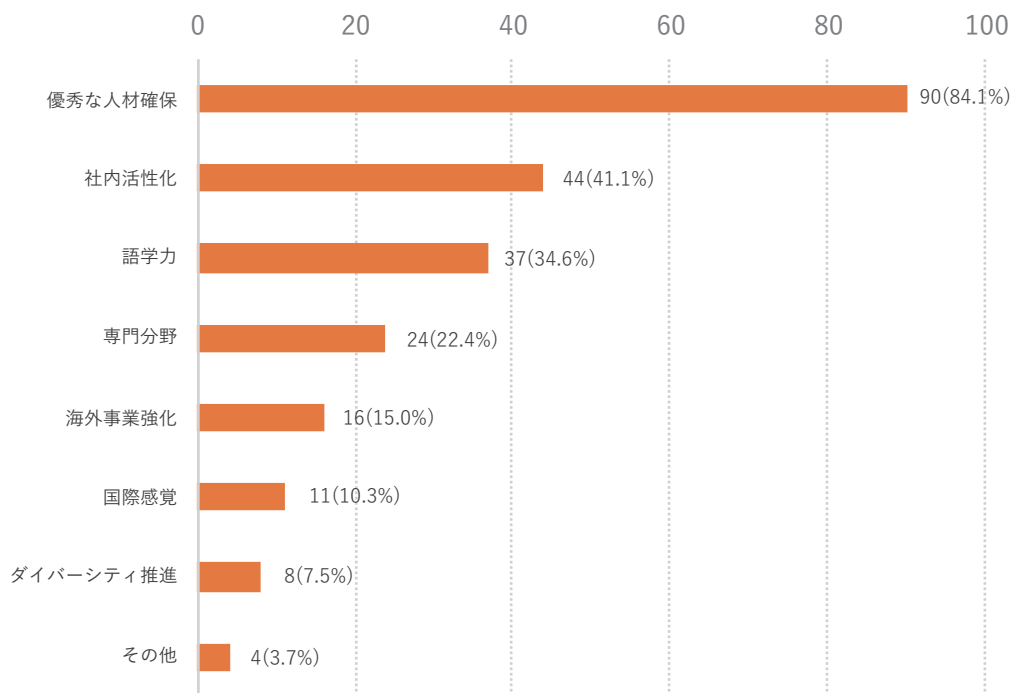


## 2-3 留学生採用への期待

留学生の採用に期待している点としては「優秀な人材確保」が最も多く、84.1%だった。『1-4 今後の外国人留学生採用方針』で留学生には国内事業での活躍を期待していることがわかったとおり、「語学力(34.6%)」や「海外事業強化(15.0%)」は比較的低い回答率となっていた。

◇留学生の採用において、もっとも期待する成果・効果はどんな点ですか？  
(複数回答可/3つまで)

回答数：107件



### 〔その他・自由回答〕

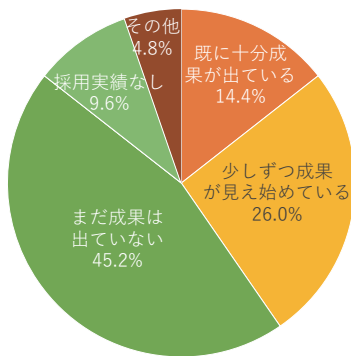
- ・日本人の採用と区別していない 1
- ・日本のサービス業へ慣れ 1
- ・美容師免許 1
- ・外国人技能実習生の受け入れ等強化 1

## 2-4 留学生採用による成果

留学生採用により得られた効果・成果については「既に十分に成果が出ている」14.4%、「少しずつ成果が見え始めている」26.0%と、約40%の企業で成果を感じていることがわかった。その中でも最も成果が高かった項目については「優秀な人材確保」が最も高く28.4%だった。成果に関する回答別に見ると「既に十分に成果が出ている」と回答した企業では、「優秀な人材確保」や「海外事業強化」といった具体的な項目が高く、「少しずつ成果が見え始めている」と回答した企業では、「社内活性化」「国際感覚」「語学力」といった項目の回答が比較的多く、留学生の採用は社内にポジティブな変化をもたらしていることがわかる。

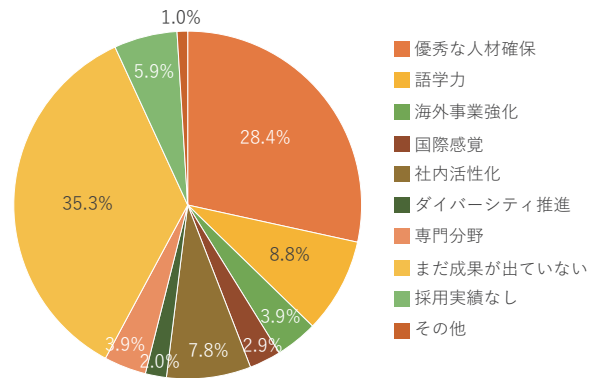
◇過去の留学生採用により、効果・成果は出ていますか？

回答数：104件



◇前問で選択した回答のうち、最も成果が高かった項目を教えてください。

回答数：102件



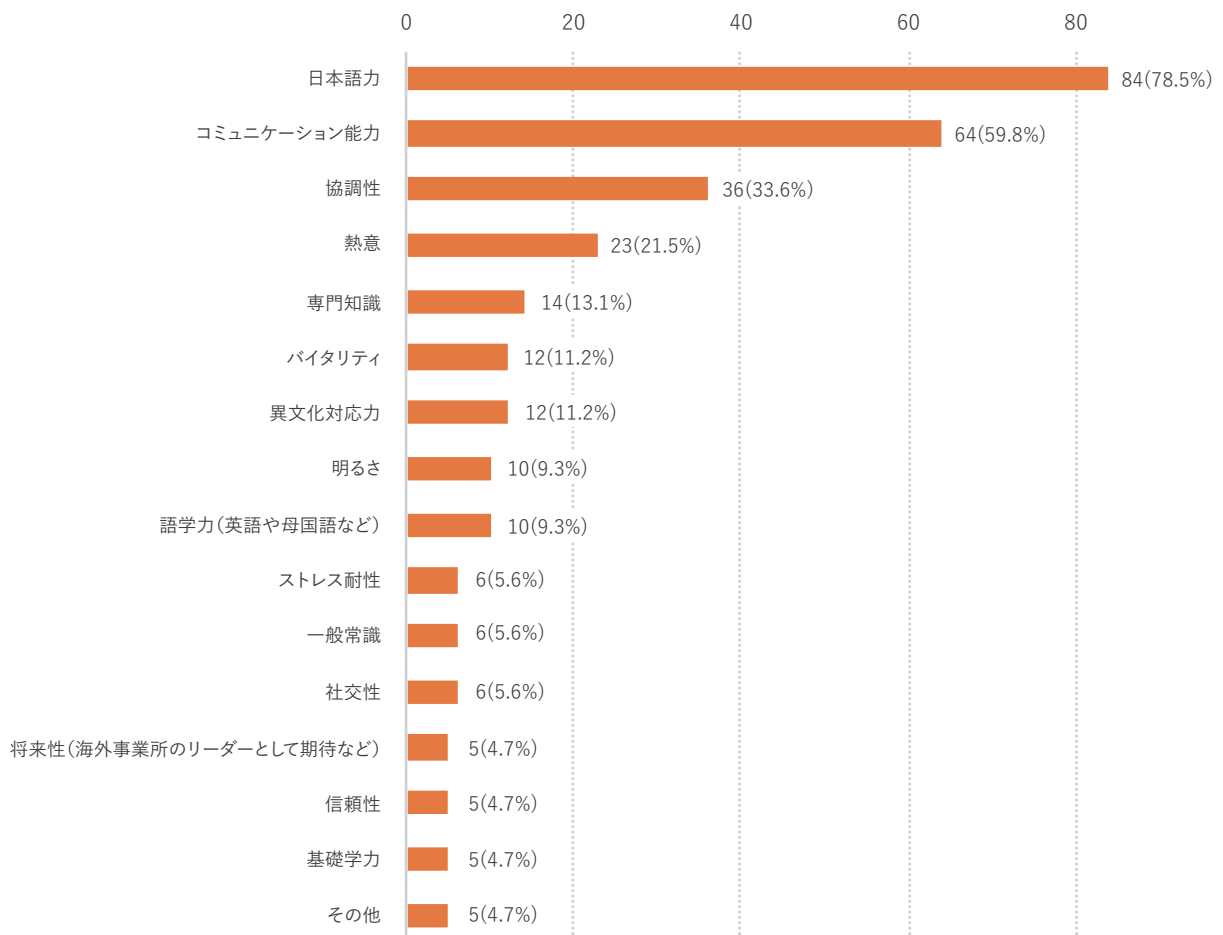
		最も成果が高かった項目									
		優秀な人材確保	語学力	海外事業強化	国際感覚	社内活性化	ダイバーシティ推進	専門分野	まだ成果が出ていない	採用実績なし	その他
総計	(n=102)	28.4%	8.8%	3.9%	2.9%	7.8%	2.0%	3.9%	35.3%	5.9%	1.0%
成果・効果	既に十分に成果が出ている	(n=15)	73.3%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
	少しずつ成果が見え始めている	(n=27)	37.0%	18.5%	3.7%	7.4%	22.2%	3.7%	7.4%	0.0%	0.0%
	まだ成果は出ていない	(n=46)	15.2%	6.5%	0.0%	2.2%	4.3%	2.2%	2.2%	67.4%	0.0%
	採用実績なし	(n=9)	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	66.7%
	その他	(n=5)	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%

## 2-5 留学生に期待すること

留学生採用にあたり、留学生に求めている事項としては「日本語力」が最も高く78.5%、次いで「コミュニケーション能力」で59.8%、「協調性」33.6%だった。日本国内戦略において留学生が求められている背景からもわかるとおり、留学生本人の母国語よりも日本語でしっかりとコミュニケーションを取れることが重視されている。留学生にとって、日本語教育機関を含め、在学中にどれだけ日本語能力を伸ばせるかが日本で就職するための重要な鍵となる。

◇採用活動において、留学生に望むことはどんなことですか？  
(複数回答可/3つまで)

回答数：107件



### 〔その他・自由回答〕

- ・ルールなどの遵守。
- ・SE適性（日本人の採用と区別していない）
- ・美容師免許
- ・職種における高い技能
- ・継続性

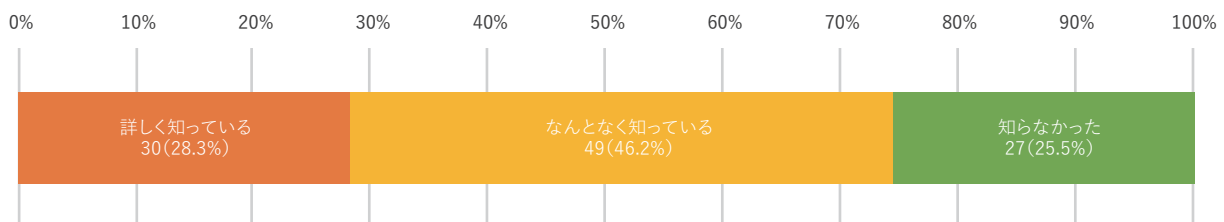
# 3 本調査

## 2-6 留学生採用における情報収集方法

留学生を雇用するために必要な就労ビザの多様性に関し、「詳しく知っている」と回答した学校は全体の30%を下回った。ほぼ同数で「知らなかった」の回答も見られた。続いて、留学生採用に関する情報源について質問したところ、「専門学校」が最も多く41.2%。「就職情報関連のWEBサイト」「政府や自治体などが実施するセミナー」に続いて「大学」が23.5%となっており、企業が専門学校から留学生情報を得ていることがわかる。ビザの多様性について、「知らなかった」企業では、「政府や自治体を設置する相談窓口」や「合同企業説明会」の回答が少なく、「政府や自治体などが実施するセミナー」の回答が多い。

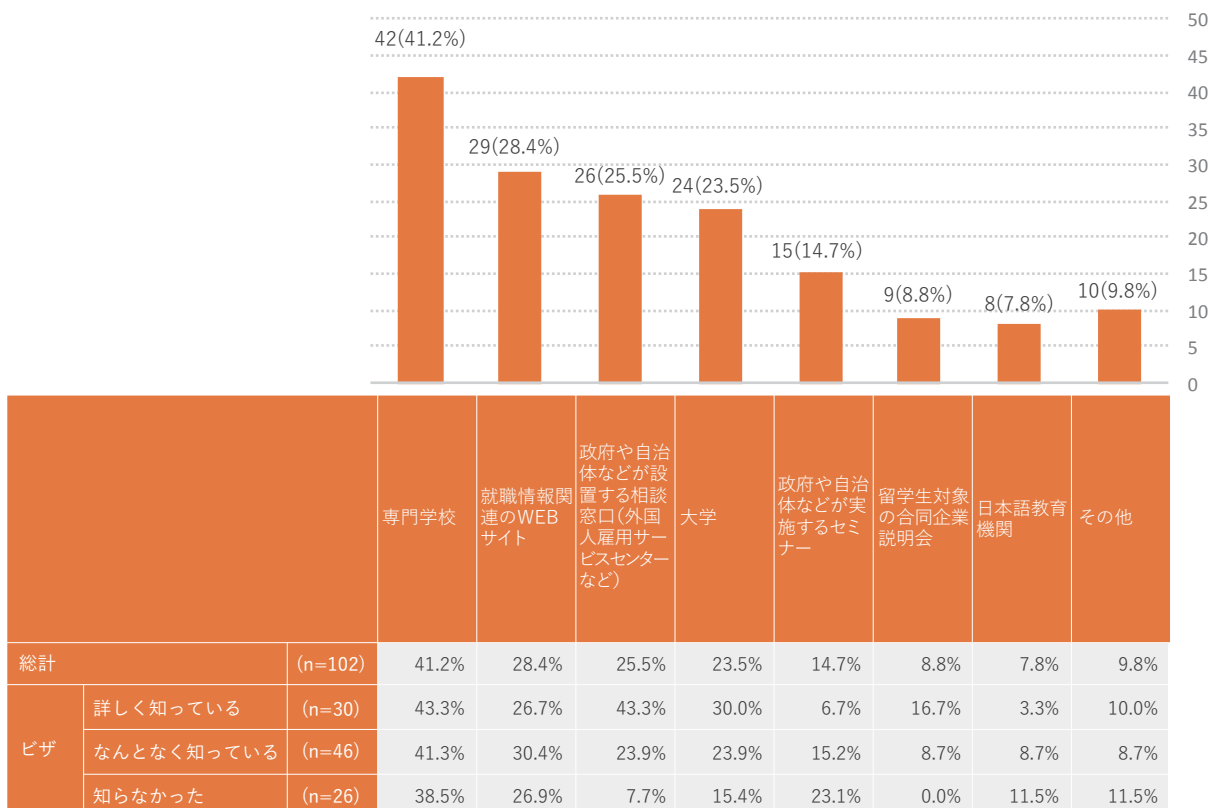
◇大学・専修学校・日本語学校で学ぶ留学生は、多くの場合「留学ビザ」で在留していますが、職種によっては、「就労ビザ(特別活動、特定技能)」が必要です(調理業界など)。採用の手続きには「留学ビザ」とは異なる手続きが必要です。こうした留学生のビザ、就労ビザの多様性についてご存じでしたか?

回答数：106件



◇前項のような留学生採用に関して、どうやって情報を入手していますか? (複数回答可/3つまで)

回答数：102件

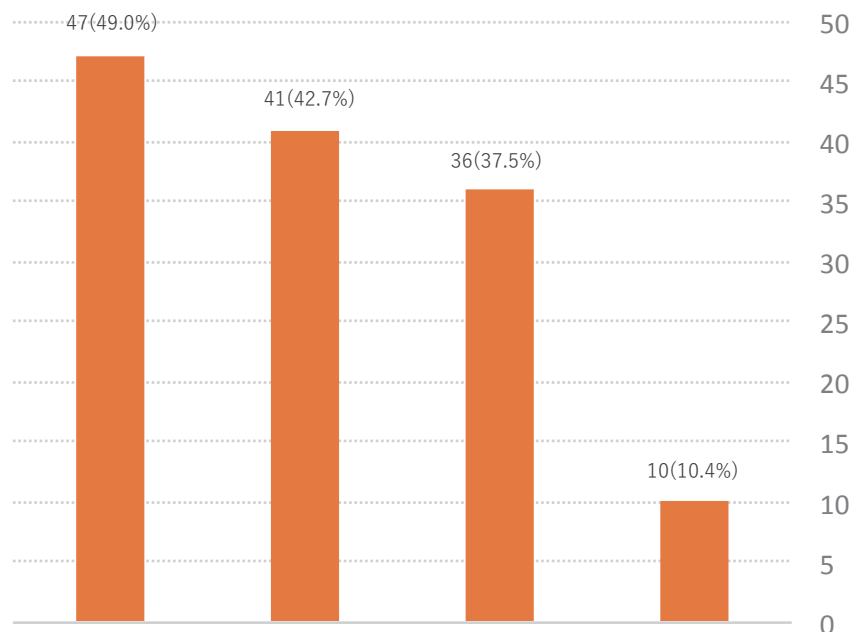


## 2-7 留学生採用で求める情報

留学生採用に関して求めている情報は、「外国人採用について相談できる機関の情報」が最も多く、49.0%とおおよそ半数だった。現在の外国人従業員数ごとに見てみると、外国人従業員が現状「なし」と回答している学校ほど「外国人採用について相談できる機関の情報」を求めており、採用者数が多い企業ほど「様々な業種での採用実績例」を求めているなど、現在の外国人採用状況により回答が異なってくるのがわかった。

◇留学生採用に関して、今後どのような情報が欲しいですか？(複数回答可)

回答数：96件



		外国人採用について相談できる機関の情報	企業における外国人採用の課題	様々な業種での採用実績例	その他
総計	(n=96)	49.0%	42.7%	37.5%	10.4%
外国人従業員数	なし (n=36)	63.9%	33.3%	47.2%	8.3%
	10人未満 (n=44)	45.5%	45.5%	31.8%	11.4%
	10~19人 (n=6)	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%
	20~29人 (n=3)	33.3%	100.0%	33.3%	0.0%
	30人以上 (n=7)	14.3%	57.1%	57.1%	0.0%

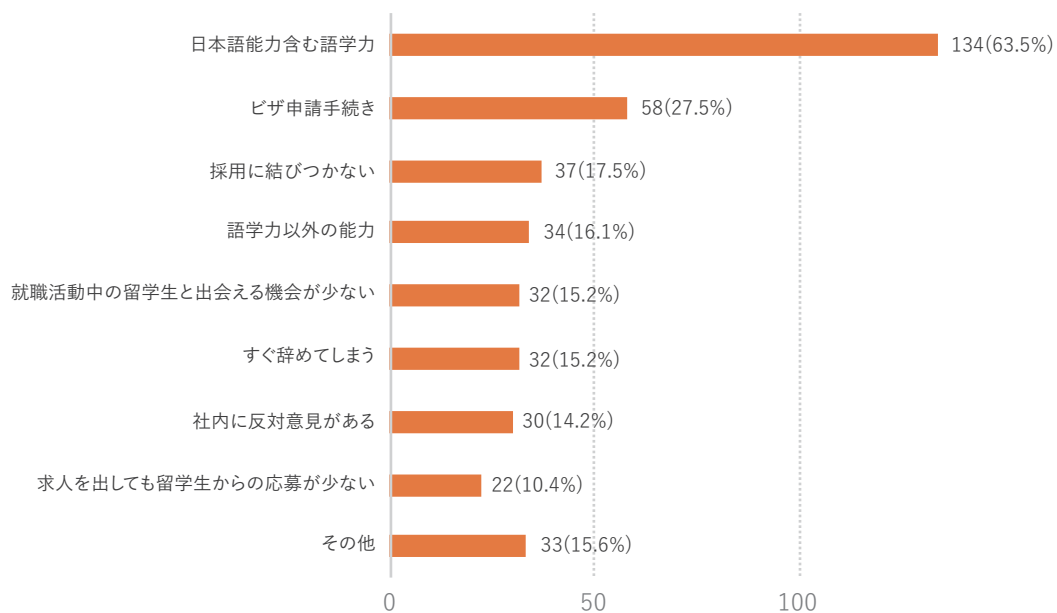


## 2-8 留学生採用の課題

採用へのハードルとして最も多く回答があったのは「日本語能力を含む語学力」が最も高く63.5%だったが、「ビザ申請の手続き」も次いで多く27.5%あった。前問までの質問事項からもわかる通り、留学生自身は「日本語能力の向上」、受入れ企業含む環境側は「留学生採用のための情報提供」や「ビザ申請手続きへの理解促進や簡略化」などが課題となっており、これらが解消されることで留学生雇用がより促進されていく可能性が高い。

◇留学生の採用活動において、課題(ハードル)になるのはどんなことですか?  
(複数回答可/3つまで)

回答数：211件



### 〔その他・自由回答〕

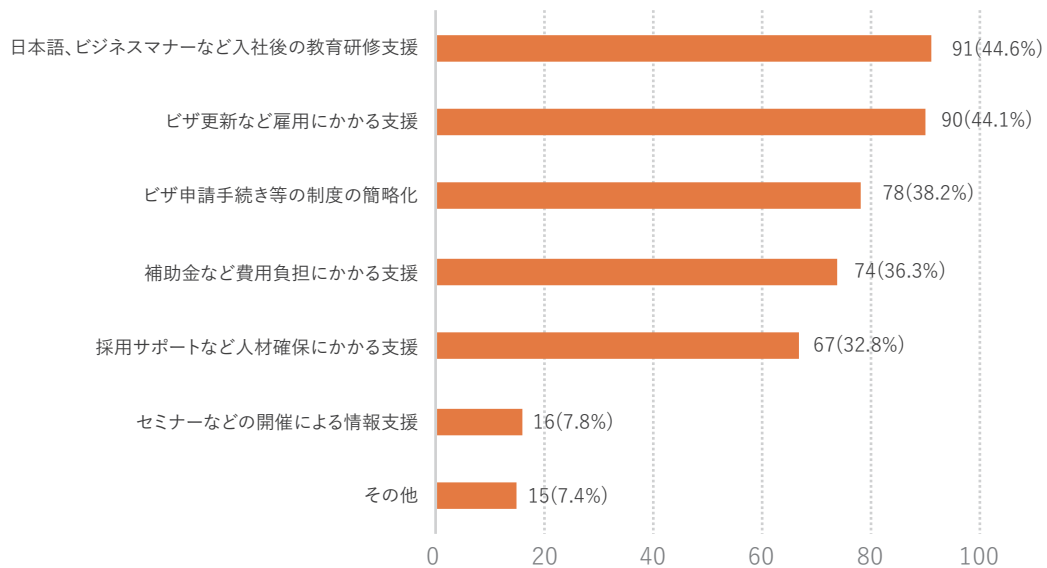
・資格や免許	5
・採用実績がない	5
・文化などの違い	4
・特になし	2
・いずれは帰国する為長期雇用が見込めない	1
・エリアの問題（勤務地が、兵庫県淡路市及び徳島県鳴門市）	1
・コンプライアンス	1
・応募があれば、検討したい。	1
・家賃補助等	1
・環境整備に手が付かない	1
・手続きにかかる金額が高額である。	1
・宗教的な理由による格差、意思疎通の難しさ	1
・美容室での想像がつかない	1
・小さな会社なので、受け入れ体制が全くない	1
・新卒の採用自体が無い為、現状は留学生の採用まで追いついていない。	1
・まずは日本人を優先する。外国人はトラブルの種でしかない。	1
・当社の受け入れ能力	1
・留学生の就労が認められていない職種である	1
・日本人以上の存在感	1
・年齢制限を上回る（長期勤続によるキャリア形成の観点から）	1
・美容業の為 美容師免許取得が必須な為	1

## 2-9 留学生採用で政府自治体に期待すること

留学生採用において、政府や自治体に求める項目としては「日本語、ビジネスマナーなど入社後の教育研修支援」が最も多く44.6%。ここでも日本語能力に関する項目が最多となった。次いで「ビザ更新など雇用にかかる支援(44.1%)」「ビザ手続等の精度の簡略化(38.2%)」とビザ関連の項目が続いた。

◇留学生の採用活動において、政府や自治体に期待する支援はどのようなことですか?(複数回答可/3つまで)

回答数：204件



### 〔その他・自由回答〕

- ・ 特になし 6
- ・ まず日本人のサポートが十分ではない 1
- ・ 永住権を取得できるかどうか 1
- ・ 支援事業者への費用が高い(自社支援検討中) 1
- ・ 地方都市における生活面の支援 1
- ・ 日本語、孤立しないコミュニティ等 1
- ・ 彼らに期待することなど何も無い。 1
- ・ 美容師資格を取れるようにすればいいと思う 1
- ・ 留学生の採用活動を行っていない 1
- ・ 留学生を受け入れやすい街づくり 1

## 2-10 留学生採用への意見

留学生採用について、自由に要望や意見を挙げてもらった。採用に対してポジティブな意見も多く見られるものの、検討はしているが具体的な行動までは落とし込めていない、などの採用に関する壁や課題も見られた。

◇留学生の採用について、ご意見ご要望など自由にお聞かせください。(任意)

回答数：35件

- ・留学生でも優秀な人材は採用を考えたいがどこに募集をかけてよいか解らない。
- ・信頼できる人材が確保できるかどうか
- ・採用の際の注意点が多すぎる。採用までに至る方と出会えていないが、いつでも受け入れられるように情報収集などは行い続けている。
- ・日本の文化が浸透しづらい。
- ・性別・国籍・宗教等では判断しない
- ・日本語でコミュニケーションが取れるかや手続きなど知識がない部分などに不安があります。
- ・美容、理容業界で雇用できるかどうか
- ・美容室ではよほど語学力がないと掃除雑用くらいしか無理かな？
- ・特殊な業種での留学生の採用は難しい。事業規模のみで採用を必須とすること等はしてほしくない。
- ・留学生の採用活動を行っていない
- ・美容室には外国籍では就職できない（ビザがおりない）。制度改革が必要です。
- ・留学生はあくまでも留学生なので就職となると様々な弊害が起きるので今は採用予定はありません。
- ・派遣業という特殊な業種なので、業界や会社間のルールを理解して貰わないと双方に不利益が起こるので、説明会に参加されていても、個別の面談で理解度を確認するなどの手間はかかるのが実情。日本人の学生は確認しないので、その分の選考採用の長さが留学生にとって不利益と言われてしまえばそれも事実だとは思いますが、自分のビジネスのために自分個人の利益を優先するような考え方の留学生を採用するわけにはいかないので、どうしても採用選考が煩雑になってしまう。このあたりは自社で管理してケアが出来る状況で働いて貰う業種とは違いでとても難しい問題だと思う。
- ・飲食業界では少子化や不人気職が原因の人員不足、最低賃金の底上げによる人件費の増加などとても大きな課題が多くもっと留学生や移民を増やして働き手を確保したいです。
- ・留学生もその他も同じだが、結局個人個人の能力や性格によって差があるので、日本人であっても留学生であっても区別はしていない
- ・今後は留学生の視野に入れて採用活動に取り組みたいと思います。
- ・資格が必要となるためなかなか雇用に結びつかない、人では不足しているので雇用したい気持ちはある。
- ・国内営業、海外営業と分けて採用をしているため、留学生の方はほぼ海外営業志望。国内だけの事業になると興味が薄れるのか、海外営業の方が応募しやすいのか、国内は応募がほぼなくなります。オフィスへの提案をしている会社で、ダイバーシティがすすんでいくなかで様々な人材を社内には欲しいのですが、なかなか国内向けに働きたい！という方がいないため、採用がないです。
- ・長期労働（10年以上）ができるようにしてほしい。
- ・留学生は採用したくない
- ・今後一切考えられない。
- ・留学生の採用についてはまだ検討中で何も動いていない状態です。今後、採用できたらと考えています。
- ・希望はしていませんが、興味はあります。
- ・広く受け入れ態勢が簡単に整うようにしてほしい。大企業は国のサポートを受けているようだが働き方改革をするのであればそれに対して労働力の確保といった面を整えてから行ってほしい。いつも大変なのは中小企業のオーナーである！
- ・小規模な店でも留学生を受け入れることができる事を知ってほしい
- ・将来、日本で働くか母国帰郷か、どうなのですかね
- ・日本語教育を継続できる教育機関が欲しい
- ・現在学生の留学生については、週28時間の就労条件の管理がややこしい。また、卒業後の採用に関しては、ホテル清掃業の弊社の採用には特定技能資格（ビルクリーニング）が必要であるが、当該資格の試験回数が少なく、合格するまで本人の生活が困難である。
- ・日本語の未熟からくる、成長の遅さ、消極的さ、とにかく応援する事しか出来ない。
- ・留学生向けの求人というのは特に出しておらず、新卒求人に留学生から応募があれば対応しています。専門職なので応募者はその分野の知識はお持ちですが、実際に業務となると日本語能力がネックとなり採用には至っていません。企業規模的に一般の日本人学生と同じ教育研修しか設けられないため。
- ・日本人からの応募が無いが、優秀な外国人の採用で、助かっています。
- ・小売業であるが過去2回台湾人を採用したく行政書士に依頼して就労ビザ申請を行なったが却下された
- ・就職活動中の留学生人材紹介
- ・特になし
- ・特にありません。

令和3年度文部科学省委託事業  
「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

留学生に関する実態把握アンケート調査報告書  
[企業対象]

発行日 2022年2月 第1版

受託 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

編集 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会  
(データ集計・分析 株式会社アクセスネクステージ)

住所 〒534-0026 大阪府都島区網島町6-20 大阪私学会館1F

TEL 06-6352-0048 FAX 06-6352-7553

大専各サイト <https://daisenkaku.or.jp/>

大専各留学生支援サイト <https://study-osaka.com/>